

★ そもそも、なんのために聖書を読むの？

まことの神様といっそう親しくなるためです。

私たちの魂の糧とするためです。

好きな人のことをもっと知りたいという気持ちと同じです。

- ◎ 神様の御心を知るために読む
- ◎ 神様と心の交流をするために読む
- × 聖書に詳しくなるために読む
- × 聖書知識自慢をするために読む

聖書は、「永遠に生きておられる神様」の御心を、

人間のことばで書き記したものです。

重要なのは、聖書の源泉である「神様の御心」を求めることです。

聖書の内容を自分なりに咀嚼するプロセスをとおして、

今の自分に対する神様の御心、導きが、私たちの心に響いてきます。

★ 聖書を自分勝手に解釈してはならないと言われましたが……

キリスト教会の歴史こそが、自分勝手な聖書解釈の歴史そのものです。

ですから、聖職者、神学者の聖書解釈は、参考意見にとどめておきましょう。

イエス・キリストは、十字架の死と復活をとおして私たちの罪をとりのぞき、

私たち一人ひとりが、直接に神様と交流できる道を開いてくださいました。

まことの神様であるイエス・キリストは、あなたの心に直接語ってくださいます。

「正しい聖書解釈」ではなく、「神様の御心」を祈り求めながら聖書を読みましょう。

神様に祈りながら読めば、間違った聖書解釈の罫にははまらないです、大丈夫です。

★ 聖書の内容を自分のものにするコツ

どれだけ聖書知識の「お勉強」をして、聖書に詳しくなっても、

「いま生きて働いておられる神様」の御心はぜったいにわかりません。

私たちが聖書を読むときは、常に以下のことを意識しましょう。

- その聖書箇所は、今のあなたとどんな共通点があるか
- 神様はその聖書箇所を通して、今のあなたに何を伝えようとしているか
- 突飛な内容、残酷な内容は、霊的シンボルとして考える
- 退屈な箇所や、意味が分からない箇所は飛ばして次に進む
- 神学者、聖職者の聖書解釈よりも、あなた自身が心に感じたことを大切に！

★ 旧約聖書を読みたいけれど、読みづらくて挫折してしまう……

『創世記』から順に通読するのが重荷と感じられるなら、

以下の箇所から読むことをお勧めします。

旧約聖書の空気感に慣れるところからはじめましょう☆

- 『詩編』 神様への祈りと愚痴がもりだくさん。共感できる詩を探してみよう。
- 『箴言』 古代ユダヤ人の格言ツイト集。共感できる格言を探してみよう。
- 『伝道の書／コヘレトの言葉』 短編小説みたいでおもしろい。一气読み推奨。
- 『ヨナ書』 全4章。預言者ヨナのおもしろ冒険記。落語のノリ。一气読み推奨。
- 『ルツ記』 全4章。全員善人。未亡人ルツと義母ナオミのいい話。一气読み推奨。
- 『ヨブ記』 長年の悩み、病、苦しみを抱えている人には響くと思う。ゆっくり読もう。
- 『イザヤ書』 40章から読んでみよう。神様のダイナミックな御愛と約束てんこもり。